

## 令和元年度2月教育委員会 会議録

開催日時	令和2年2月21日（金） 15:00～17:00	
開催場所	町民総合会館 研修室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、竹井成範委員、栗坂祐子委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、貝畑和明学校教育課長、猪木浩二課長補佐 石原知子主幹 大部桂嗣主事
会議次第	<p>1 開会 教育長あいさつ</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 早島町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例について</p> <p>(2) 早島町立学校の教職員の業務量の適切な管理等に関する規則について</p> <p>(3) 早島町立学校の教職員の勤務時間の上限に関する方針の改正について</p> <p>(4) 令和元年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検・評価報告書について</p> <p>(5) G I G Aスクール構想について</p> <p>(6) その他</p> <p>3 連絡</p>	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

### 会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>教育長：新型コロナウイルスの感染症対策として、アルコール消毒、手洗い、うがい、咳エチケットなど、周知徹底して予防に努めたい。先日早島中学校が国立教育政策研究所の中間報告会で発表してきた。中学校のアンケートでは、総合的な学習の時間の探究活動を通して、全学年で非認知能力である「やり抜く力」が伸びてきたという結果が示された。探究活動の充実を図ることで、キャリア教育の視点も充実してきた。研究資料をご覧いただき、お気づきの点があればご示唆願いた</p>
---

い。

## 2 議事・報告案件

### (1) 早島町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例について

大部主事：現行では、預かり保育料は、長期預かり保育においては毎月 15 日までに、納付しなければならないことになっているが、保育料の無償化に伴い、利用月の翌月 15 日までに納付しなければならないと改正を行いたい。

教育長：改正案につきまして、よろしいか。

全委員：了承した。

### (2) 早島町立学校の教職員の業務量の適切な管理等に関する規則について

### (3) 早島町立学校の教職員の勤務時間の上限に関する方針の改正について

教育長：教育職員の業務量の適切な管理については、設置者、管理者の責任が大きく問われることとなる。令和 2 年 4 月 1 日からの施行に向けて勤務時間の上限に関する方針を示している。教員採用試験に合格しても辞退する実態もあり、働き方改革を進めることは急務である。より働きやすい環境をつくるためにも上限を設け、持ち帰り業務についても削減できるよう働き方について考えていかななくてはならない時期に来ている。

大森委員：教育の充実がなければ、日本の活力が失われていくように感じる。

教育長：教員には超過勤務手当がなく、教職調整額で超過勤務に対応している状況である。

竹井委員：具体的な対策として示さなければ、何も変わらないのでは。

教育長：学校の役割は多岐にわたり、時間も人も足りない。今後は家庭や地域にお願いすることも増えてくるだろう。家庭ですべきこと、学校ですべきこと、地域ですべきことを整理していく必要があり、文科省でその整理を行っている。

竹井委員：教員の実態として、超過勤務手当も出ないようであれば、それは厳しい状況だろう。町として出すことができないのか。

教育長：町として、町費職員は出せるが、県費の員は難しいと思う。

竹井委員：子どもが好きだという根本があり、仕事をしていると思うが、今の時代の風潮として超過勤務をなくしていかなければならないと思う。国の方針としてあるのだろうが、書面上でいくら超過勤務をなくすと定めても、実際は持ち帰り業務が増えるだけではないか。

大森委員：「自らの判断に基づいて自らの力量を高めるために自己研鑽の時間」は除くとあるが、現状では、この時間も含まれているのか。

猪木：出退勤管理は一律のデジタル管理のため、その時間も含まれて超過勤務としての時間数が出ている。

栗坂委員：これからは、各自がワークライフバランスを大切にしたい時間の使い方を考えていかなければならない。

竹井委員：教員が超過勤務手当もなく、長時間労働をしているということが驚きであり、もっと地域や保護者にも知ってもらうことが大切だ。町から超過勤務手当を出すことができれば全国への発信になる。クラウドファンディングを行うなどのアイデアを出すことも一案かも知れない。

教育長：それでは、この方針についてはよろしいか。

全委員：了承した。

(4) 令和元年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検・評価報告書について

教育長：学校教育課重点事業について、お気づきの点があればご意見をいただきたい。

竹井委員：グローバル人生の育成活動が充実しているが、留学についてはどうか。

教育長：将来的には取り組みたいと考えている。来年度は無理であるが、国際交流としての留学が実現するよう考えていきたい。

竹井委員：AMD Aでは、大学生などを対象にしてインドなど発展途上の国に留学させる制度もあるようだが。

教育長：インドは、ICTや数学の分野でも躍進している。他国の文化に触れることは大切。留学が難しければ、留学生を受け入れるホームステイを実施しても良いと思う。また、留学については、他市町村では、家庭の負担を半分ほどにして、公費の補助を出して留学制度を実施しているところも多いので、早島町でも実現させたい気持ちはある。一度始めると継続をしていくことが必要であるが、GIGAスクール構想もあり、費用の負担をどうするか考えたい。

栗坂委員：自費でも行きたい人は多いかもしれない。

教育長：自費での留学も視野に入れて考えていきたい。

続いて生涯学習重点事業でのお気づきの点があればご意見をいただきたい。

栗坂委員：まなびの舎講座に子どもたちが参加できる仕組みを取り入れたのは良いアイデアだと思う。以前はシニアの参加が多かったように思うが、子どもが参加することはまなびの舎講座の活性化にもつながる。

教育長：今年度「すくすくハート」を立ち上げ、子育て支援の充実を図っている。「親プロ」のファシリテーター養成講座も年々意識が高まっており、引き続き子育て支援についての充実を図っていきたい。また、来年度は読書活動の推進に力を入れていきたい。

点検と評価についてはよろしいか。

全委員：了承した。

(5) GIGAスクール構想について

教育長 : 一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで学びの深化と学びの転換を図っていく。一人一台端末は、昨年 11 月に急に動き出し、予算化についても大変早急に対応を迫られている。国の補助が出るうちに整備を進めていきたい。

大森委員 : ICTを活用するだけでなく、子どもたちの心を育てることが大切。これから求められる力は、コミュニケーション能力や自分の思いを発信できる力なのでバランスは大切だと思う。

教育長 : そのとおりである。ICT 活用を進めていくためにも、来年度は読書活動・NIE 活動にも力を入れたいと考えている。

G I G A スクール構想についてはよろしいか。

全委員 : 了承した。

#### (6) その他

- ・はやしま子どもフォーラム
- ・ふるさとソング
- ・早島町部活動の在り方に関する検討委員会設置要綱

### 3 連絡

・次回は、中学校の卒業式後に教育委員会を行う。よろしく申し上げます。

・3月教育委員会 3月13日(金) 15時～17時

早島町町民総合会館 2階 研修室